



平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年6月29日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一
 問合せ先責任者(役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中島 孝次 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	231,296	13.9	5,389	25.3	6,433	14.9	4,410	15.4
30年2月期第1四半期	203,122	11.5	4,299	52.1	5,597	70.1	3,820	64.9

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 △451百万円(—%) 30年2月期第1四半期 482百万円(△88.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	458.16	—
30年2月期第1四半期	396.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	506,947	209,509	39.5
30年2月期	502,396	211,153	40.2

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 200,306百万円 30年2月期 201,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	90.00	—	100.00	190.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	920,000	8.1	20,000	11.0	23,000	2.6	17,000	1,765.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期1Q	9,720,000株	30年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	93,469株	30年2月期	92,183株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期1Q	9,626,992株	30年2月期1Q	9,628,036株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、設備投資が引き続き好調な米国経済に加え、中国及びアセアン経済も輸出を中心として緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、好調な企業収益に支えられ、底堅く推移しました。

このような状況下にあつて、当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,312億96百万円で前年同期比13.9%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が157億24百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益が53億89百万円（前年同期比25.3%増）、経常利益が64億33百万円（前年同期比14.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億10百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、土木・建築及び製造業向けの需要が堅調でした。

特殊鋼部門は、国内外で建機・工作機械や自動車の生産が堅調に推移し、数量が増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、北米及びアジア地区における販売が伸びました。

鉄鋼セグメントの売上高は、978億13百万円（前年同期比13.4%増）となり、順調でした。

(情報・電機)

非鉄金属部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連を中心に国内外で伸びました。

エレクトロニクス部門は、FA関連や自動車関連向け半導体及び機器類が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、488億12百万円（前年同期比11.7%増）となり、順調でした。

(産業資材)

化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連を中心に数量が伸びました。

メカトロ部門は、設備機械や部品・工具の伸びに加え、航空機向けが大幅に増加しました。

産業資材セグメントの売上高は、708億11百万円（前年同期比18.1%増）となり、好調でした。

(生活産業)

配管建設部門は、住宅設備関連向けが増加しました。

食品部門は、水産物の輸入及び量販店向け鶏肉・鶏肉加工品等が底堅く推移しました。

生活産業セグメントの売上高は、138億59百万円（前年同期比4.8%増）となり、堅調でした。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,069億47百万円となり、たな卸資産や売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べて45億50百万円増加しました。

負債は2,974億37百万円となり、仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて61億94百万円増加しました。

純資産は2,095億9百万円となり、その他有価証券評価差額金の減少などにより前連結会計年度末に比べて16億43百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成30年3月30日発表の予想数値を据置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,484	13,969
受取手形及び売掛金	186,782	186,928
電子記録債権	29,223	32,499
商品及び製品	50,632	54,765
仕掛品	3,739	5,162
原材料及び貯蔵品	1,482	1,506
その他	11,069	12,788
貸倒引当金	△598	△631
流動資産合計	295,816	306,989
固定資産		
有形固定資産	38,897	38,571
無形固定資産	1,267	1,269
投資その他の資産		
投資有価証券	143,198	136,629
その他	23,496	23,765
貸倒引当金	△279	△278
投資その他の資産合計	166,415	160,116
固定資産合計	206,580	199,957
資産合計	502,396	506,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,769	105,597
電子記録債務	17,557	18,970
短期借入金	104,721	104,551
未払法人税等	3,022	1,409
賞与引当金	1,296	2,268
その他	11,783	12,520
流動負債合計	239,150	245,318
固定負債		
長期借入金	11,698	13,302
繰延税金負債	34,337	32,657
役員退職慰労引当金	778	819
退職給付に係る負債	1,814	1,868
その他	3,463	3,470
固定負債合計	52,092	52,118
負債合計	291,242	297,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	114,674	118,122
自己株式	△457	△460
株主資本合計	131,144	134,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,088	61,569
繰延ヘッジ損益	△180	△45
為替換算調整勘定	608	35
退職給付に係る調整累計額	4,199	4,158
その他の包括利益累計額合計	70,716	65,717
非支配株主持分	9,293	9,203
純資産合計	211,153	209,509
負債純資産合計	502,396	506,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	203,122	231,296
売上原価	188,923	215,572
売上総利益	14,198	15,724
販売費及び一般管理費	9,899	10,335
営業利益	4,299	5,389
営業外収益		
受取利息	348	375
受取配当金	841	940
持分法による投資利益	299	200
その他	240	175
営業外収益合計	1,731	1,692
営業外費用		
支払利息	371	468
手形売却損	4	5
その他	56	173
営業外費用合計	432	647
経常利益	5,597	6,433
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産処分損	9	2
投資有価証券評価損	22	—
その他	0	0
特別損失合計	31	2
税金等調整前四半期純利益	5,567	6,435
法人税、住民税及び事業税	1,776	1,726
法人税等調整額	△224	86
法人税等合計	1,552	1,812
四半期純利益	4,015	4,622
非支配株主に帰属する四半期純利益	194	211
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,820	4,410

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	4,015	4,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,353	△4,531
繰延ヘッジ損益	11	134
為替換算調整勘定	△283	△501
退職給付に係る調整額	137	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△45	△134
その他の包括利益合計	△3,532	△5,073
四半期包括利益	482	△451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313	△587
非支配株主に係る四半期包括利益	168	135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	86,252	43,702	59,946	13,219	203,122	—	203,122
セグメント間の内部売上高 又は振替高	230	594	115	321	1,261	△1,261	—
計	86,483	44,296	60,062	13,541	204,383	△1,261	203,122
セグメント利益	1,481	1,010	1,546	484	4,523	△223	4,299

(注)1. セグメント利益の調整額△223百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	97,813	48,812	70,811	13,859	231,296	—	231,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	259	422	154	358	1,195	△1,195	—
計	98,073	49,235	70,965	14,218	232,492	△1,195	231,296
セグメント利益	1,696	1,156	2,022	524	5,400	△11	5,389

(注)1. セグメント利益の調整額△11百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。